

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月14日(2022.3.14)

【公開番号】特開2020-115903(P2020-115903A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-6843(P2019-6843)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月4日(2022.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による特定動作を検出して受付ける受付手段と、

遊技者による特定動作の対象となる対象物が画像として表現された摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

遊技者による特定動作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において遊技者による特定動作が受け付けされると、該受け付けに応じた表示変化を生じさせる受付状態実行手段と

30

を備え、

前記受付状態として、第1受付状態及び第2受付状態を含む複数の受付状態が用意されており、

前記第1受付状態では、前記摸画像表示が複数の配色のいずれかによって表示可能とされ、

前記第2受付状態では、前記摸画像表示が特定の配色によってのみ表示可能とされ、

前記第1受付状態において表示されうる前記複数の配色には、前記第2受付状態において表示される前記特定の配色が含まれており、

前記第2受付状態では、前記摸画像表示が表示されている期間と、前記摸画像表示が表示されていない期間とが順次に現れるようになっており、当該第2受付状態のうち前記摸画像表示が表示されている期間で遊技者による特定動作が受け付けられた場合と、当該第2受付状態のうち前記摸画像表示が表示されていない期間で遊技者による特定動作が受け付けされた場合とでは、該受け付けに応じた前記表示変化としての態様が異なっており、さらに、

40

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と

を備え、

前記第2受付状態は、第1変動パターンで図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに特定BGMが可聴出力されているなかで発生する場合と、前記第1変動パター

50

ンとは異なる第2変動パターンで図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに特定BGMが非可聴状態にされているなかで発生する場合との両方があり、さらに、

前記特定BGMが可聴出力されているなかで前記第2受付状態が発生した場合であっても、前記特定BGMは、該第2受付状態が継続しているなかで非可聴状態にされうることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

10

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による特定動作を検出して受けける受付手段と、

遊技者による特定動作の対象となる対象物が画像として表現された摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

遊技者による特定動作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において遊技者による特定動作が受け付けされると、該受け付けに応じた表示変化を生じさせる受付状態実行手段と

20

を備え、

前記受付状態として、第1受付状態及び第2受付状態を含む複数の受付状態が用意されており、

前記第1受付状態では、前記摸画像表示が複数の配色のいずれかによって表示可能とされ、

前記第2受付状態では、前記摸画像表示が特定の配色によってのみ表示可能とされ、

前記第1受付状態において表示されうる前記複数の配色には、前記第2受付状態において表示される前記特定の配色が含まれてあり、

前記第2受付状態では、前記摸画像表示が表示されている期間と、前記摸画像表示が表示されていない期間とが順次に現れるようになっており、当該第2受付状態のうち前記摸画像表示が表示されている期間で遊技者による特定動作が受け付けられた場合と、当該第2受付状態のうち前記摸画像表示が表示されていない期間で遊技者による特定動作が受け付けされた場合とでは、該受け付けに応じた前記表示変化としての態様が異なっており、さらに、

30

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段とを備え、

前記第2受付状態は、第1変動パターンで図柄変動が実行開始されてから所定時間が経過したときに特定BGMが可聴出力されているなかで発生する場合と、前記第1変動パターンとは異なる第2変動パターンで図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに特定BGMが非可聴状態にされているなかで発生する場合との両方があり、さらに、

40

前記特定BGMが可聴出力されているなかで前記第2受付状態が発生した場合であっても、前記特定BGMは、該第2受付状態が継続しているなかで非可聴状態にされうることを特徴とする遊技機。

50